

(一般・留B・社会人)

2026年度 大学院入学試験問題【Ⅱ期】

法学研究科 民法法学専攻 高度職業人養成コース (博士前期課程)

科目：小論文

【六法 (判例・解説・書き込みがないもの) は使用可】

- 注1) 次の科目の中から志望専門科目の問題を解答しなさい。
2) 解答用紙の出題番号欄に、解答する科目の出題番号を記入すること。

1. 民法 (財産法)

以下の問題の中から1問を選択して解答しなさい。

問1 時効の効果がいつ発生するかについて、確定効果説と不確定効果説とを対比しつつ論じなさい。

問2 甲不動産を所有者Aから賃借したBが、Aの承諾を得てこれをCに転貸した。AがBの賃料不払いを理由として賃貸借契約を解除する場合においてAはCに催告をしなければならないか、また、Aが賃貸借契約を解除したとして転貸借契約はいつ終了するかについて、論じなさい。

2. 民法 (家族法)

特定財産承継遺言について論述しなさい。

3. 商法 (総則・商行為・会社)

会社法上の公開会社における取締役の競業取引規制に関して、その内容および趣旨を明らかにするとともに、解釈上の問題点として考えられる諸事項をあげて論述しなさい。

4. 民事訴訟法

以下の問題のうち、1つを選んで解答しなさい。

問1 民事訴訟における弁論主義と釈明権との関係を説明しなさい。

問2 民事訴訟における自由心証主義と説明責任との関係を説明しなさい。

問3 強制執行手続における債務者保護のための制度を、3つ挙げて説明しなさい。

問4 債権者集会の役割を、破産手続と民事再生手続とで比較して説明しなさい。

5. 知的財産法

以下の問題の中から1問を選択して解答しなさい。

問1 審決取消訴訟における審理範囲制限とその是非について論述しなさい。

問2 著作権法におけるリンクの取り扱いについて論述しなさい。